

絵本の本棚

「絵本の本棚」は子どもたちに読み聞かせをしている方々（おうちの方や読み聞かせボランティアの方、学校の先生 など）に向けて、絵本選びの参考になればということで作成しているテーマ別リストです。



「なつの絵本」

暑い夏がやってきます。海、花火、昆虫……。夏の楽しさにあふれた、素敵な絵本を集めました。

(凡例)

書名	著者名等	出版者	出版年	請求記号
あらすじ	対象	キーワード		

対象区分（あかちゃんから / 幼児から / 小学生から）ごとに書名のアイウエオ順で掲載しています。
対象区分はおおよその目安となりますので参考としてください。



あかちゃんから

[うみだーいすき \(こねこちゃんえほん\)](#)

いもとようこ / 著 1986 Z913.8/14/
幼児(0～5歳) 夏 海

[こぐまちゃんのみずあそび 幼児絵本シリーズ](#)

わかやま けん / [絵] こぐま社 1971.11 Z913.8/14/
幼児(0～5歳) 夏 みずあそび

[どろんこおばけ \(ブック・ローン出版のえほん だっくんあそぼうよ\) 福音館の幼児絵本](#)

すえよし あきこ / さく ブック・ローン出版 1984.6 Z913.8/14/
幼児(0～5歳) みずあそび

[なつはぐんぐん \(おひさまのほん 五味太郎・きせつのえほん\) ピチピチえほん 10](#)

五味 太郎 / 作 小学館 2005.7 Z913.8/14/
どこかで夏の音 ぐんぐん ぐんぐん。お花がぐんぐん。まめのきぐんぐん。白いくも ぐんぐん ぐんぐん。おひさま ぐんぐん ぐんぐん…。夏、満喫絵本。
幼児(0～5歳) 夏

[ねないこだれだ \(いやだいやだの絵本\) 絵本の時間 44](#)

せな けいこ / さく・え 福音館書店 1978 Z913.8/14/
幼児(0～5歳) おばけ

[ノタンおよくのだいすき \(ノタンあそぼうよ\)](#)

キヨノ サチコ / 作絵 偕成社 1977.8 Z913.8/14/
幼児(0～5歳) 夏 海

むしむしだあれ? (はじめてのしぜんえほん)

今森 光彦 / さく 童心社 2006.6 Z486/17/

「あれっ? まああるいよ なんだろう?」「お花のかけから、のぞいているよ。だれかな? だれかな?」さまざまな虫の姿を、生態に即して丁寧に描く。めくってうれしい、自然への第一歩。

幼児(0~5歳) 昆虫



幼児から

青いヤドカリ

村上 康成 / 作・絵 徳間書店 2001.6 Z913.8/ムラ/

毎日男の子がやってくる。海にもぐってみたいけど、ちょっぴりこわい...のかい? ほら、ゆうきをだして! ようこそ海へ。

幼児(0~5歳), 小初 夏 海

おばけのてんぷら (絵本のひろば)

せな けいこ / 作・絵 ポプラ社 1978 Z913.8/セ/

幼児(0~5歳) おばけ

14ひきのせんたく

いわむら かずお / さく 童心社 1990.5 Z913.8/イ/

ゴールデン・カイト賞(1991年度)

幼児(0~5歳) 夏 せんたく

なつですよ (四季のえほん)

柴田 晋吾 / さく 金の星社 2009.6 Z913.8/シ/

山、海、川、田んぼ、公園...。いろいろな場所に目を向けて、そっと耳を澄ましてみると、さまざまな発見に出会えます。夏の訪れを喜んでいる生きものたちを見つけてみませんか? 季節の豊かな恵みを描いた絵本。

幼児(0~5歳) 夏

なつのいちにち キスのおまじない

はた こうしろう / 作 偕成社 2004.7 Z913.8/ハ/

あついあつい夏の日。クワガタのいる山をめざしてぼくは走った。まっ白な日ざし、青い草のにおい... ページのなかからあふれだす夏。人気絵本作家の初めてのオリジナル創作絵本。

幼児(0~5歳) 夏 昆虫

ねずみくんうみへいく (ねずみくんの絵本) 大型絵本

なかえ よしを / 作 ポプラ社 2009.6 Z913.8/ナ/

海へ行くことにしたねずみくんとねみちゃんは、友だちを誘うことにしました。しかし、いつまでたっても全員そろいません。ねずみくんたちは、無事に海へ行けるのでしょうか? 上にめくると大きな絵になるしかけページ付き。

幼児(0~5歳) 夏 海

まめうしのあついなつ (わたしのえほん) こどものとも傑作集 54

あきやま ただし / 作・絵 PHP研究所 2005.7 Z913.8/アキ/

ぼく、まめうし。豆粒くらいの小さい子牛。カブトムシみたいなぶた「かぶたむし」と一緒に、正義の味方「くわがたうし」になったんだ。困ったことがあったらいつでもぼく達に言ってね。

幼児(3～5歳) 夏 ともだち

みずまき (講談社の創作絵本 Best selection) ヒデ子さんのうたあそびえほん

木葉井 悦子 / 作・絵 講談社 2003.6 Z913.8/木 /

真夏の午後、庭じゅうの生き物に女の子がホースで水まき。生き物たちが水を浴びていく様子が勢いのある筆で力強く描かれた絵本です。94年刊の新装版。

幼児(0～5歳) みずあそび



小学生から

あさがお (だいすきしぜんしょくぶつ) えほんのマーチ 18

斎藤 光一 / 絵 フレーベル館 2008.4 Z479.951/サイ/

身近な自然に親しみながら、科学する心を育てる絵本シリーズ。あさがおの成長過程や、あさがおに集まる虫などを紹介。美しいリアルイラストレーションや写真で驚きと感動を伝えます けんぶち絵本の里大賞(第15回)

幼児(3～5歳), 小初 植物

ウエズレーの国 新訊えほん

ポール・フライシュマン / 作 あすなる書房 1999.6 Z933.7/ワ /

仲間はずれにされていた少年ウエズレーが夏休みの自由研究に、自分だけの作物を育て、自分だけの服を作り、「遊び」を考えだし、「文字」までを発明して、「自分だけの文明」をつくりだす壮大な物語。

小中 夏休み ともだち

うみをあげるよ

山下 明生 / 作 偕成社 1999.6 Z913.8/ヤマ/

ワタルくんの大切なバスタオルが風にとばされました。お母さんと森へ探しに行くと、「や、みーつけた。いいものみーつけた。」「海だ、海だ、僕たちの海だぞお!」と嬉しそうな声が聞こえてきました…。77年秋書房刊の再刊。

幼児(0～5歳) 海 かえる

うらしまたろう (日本名作おはなし絵本) 講談社の創作絵本

那須田 淳 / 文 小学館 2009.4 Z913.8/ナ /

亀に連れられて、海底深い竜宮を訪れたうらしまたろう。美しい乙姫と3か月過ごして地上に戻ると、300年という月日が経っていて…。情緒を育む豊かな語り口の文章と個性あふれる絵で綴る、日本名作おはなし絵本。 日本絵本賞(第13回), 講談社出版文化賞(第39回)

幼児(0～5歳), 小初 昔話

えーと、えーとね、ぼくペンギン? (ポプラせかいの絵本)

エーデル・ロドリゲス/さく ポプラ社 2009.6 Z963/㊦/

お水が大好きなペンギンのペンタ。雨も氷も水たまりもお風呂も好きだけど、あんまり深いお水は苦手。なぜなら、泳げないから…。なのに、学校の遠足で海に行くことになっちゃった!

幼児(3~5歳) 海 ペンギン

おおきなおおきなさかな (フレーベル館のおはなしいっぱい) くもんの絵童話

高科 正信/作 フレーベル館 1999.9 YZ913.8/㊦/

おとうさんとうみへつりにいくことになった。「いっぱいつれる?」「ああ、じゃんじゃんつれるさ」つりにいくのははじめてだったので、ぼくはうれしくてともだちみんなにじゃんじゃんつれるはなしをした。でも…。

幼児(0~5歳) 夏 海 釣り

コウモリうみへいく

ブライアン・リーズ/作・絵 徳間書店 2009.6 Z933.7/㊦/

満月の夜、みんなで海にでかけたコウモリたち。砂浜でお城を作ったり、サーフィンやビーチバレーをしたりと、楽しく遊びます。そしてお楽しみのお弁当の時間になって…。ピクニックや海水浴の楽しさを描いた絵本。

幼児(3~5歳) 夏 海 コウモリ

スイミー

レオ・レオニ/[作] 好学社 1979 Z933/㊦/

小さな黒い魚スイミーは、広い海で仲間と暮らしていました。ある日、なかまたちがみんな大きな魚に食べられてしまい、一匹のこったスイミーは…。 日本絵本賞翻訳絵本賞(第10回)

幼児(0~5歳) 海 魚

てのひらかいじゅう (しぜんといっしょ) 絵本・いつでもいっしょ 14

松橋 利光/しゃしんとぶん そうえん社 2008.9 Z487.93/㊦/

庭で見つけたある生き物は、鋭い目でこちらを見ながら舌をペロリ。まるで大きな口を開けた怪獣...? 実はとても小さなカナヘビ。怪獣みたいな姿をした生き物たちの顔、足、うろこを拡大写真で紹介。飼い方も説明する。 日本絵本賞(第12回)

幼児(0~5歳), 小初 とかげ

天人女房

稲田 和子/再話 童話館出版 2007.7 Z913.8/㊦/

水浴びをしていた天女に一目ぼれをした牛飼いの男は、羽衣を隠し、天に帰れなくなった天女を家に連れて帰った。ふたりは結婚し、子どもたちと幸せに暮らしていたが、ある日隠してあった羽衣を見つけて…。七夕祭りの由来の話。 コルデコット賞銀賞

小初 昔話

とべバツタ (創作大型えほん) 日本の童話名作選

田島 征三/作 偕成社 1988.7 Z913.8/㊦/

幼児(0~5歳), 小初 昆虫

トマトさん (こどものとも傑作集) 日本傑作絵本シリーズ

田中 清代/さく 福音館書店 2006.7 Z913.8/㊦/

ある暑い夏の日。真っ赤なトマトさんは小川に泳ぎに行きたくなくなった。でも、体が重たいので転がることができない。みんなで転がしてあげようと、虫たちやとかげたちが「えい、えい、えーい!」とふんばると…。

幼児(3~5歳), 小初 夏 みずあそび トマト

ぼく、およげないの

アンバー・スチュアート / 文 徳間書店 2008.5 Z933.7/ｽｽ/

かわうその口口くんには、たったひとつできないことがありました。それは、泳ぐこと。口口くんがしょげていると、ある日お姉ちゃんがいいことを思いついてくれました…。小さな子の気持ちを温かく描いた絵本。

幼児(3～5歳) みずあそび

ほしにむすばれて (えほんのもり) 日本の童話名作選

谷川 俊太郎 / 文 文研出版 2009.4 Z913.8/ﾀﾝ/

祖父から母親、そして孫へと時間をかけて伝わる星空の魅力。星空が大好きだったおじいちゃんの人生を、小さな子どもの目から振り返ります。夜空に輝く星たちをながめたくなる絵本。

幼児(3～5歳), 小初 星 夜空

めっきらもっきらどおんどん (こどものとも傑作集)

長谷川 摂子 / 作 福音館書店 1990.3 Z913.8/㏗/

遊ぶ友達が誰もいないかたは、大声で歌を歌った。すると、風に乗って奇妙な声が聞こえてきた。「よおよお、ええうたええうた」声が聞こえてきた穴をのぞきこむとひゅうっとあなに吸い込まれて…。

幼児(0～5歳), 小初 夏 おばけ 冒険

山形県立図書館 経営課調査相談担当

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (023) 631-2523 (代)

URL <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>